



こんにちは、まるまる訪問看護ステーション湯島です。新たなスタッフを迎え、看護師5名・理学療法士2名・作業療法士1名体制となりました。これからもご利用者様に寄り添ったケアを行い、地域の社会資源として皆様に信頼して頂けるように日々研鑽を積んでまいります。

『慢性腎臓病・腎代替療法の勉強会に参加しました！』

今回は、荒川区西尾久にあります 祐ホームクリニック荒川 院長・河野桃子先生 が講師として登壇されました「慢性腎臓病・腎代替療法」の勉強会に代表松丸・PT新田が参加致しました。

腎代替療法には、血液透析・腹膜透析・腎移植の他にCKM(保存的腎臓療法)という治療法があることを学びましたが、血液透析以外の腎代替療法についても適切に情報提供がなされ、本人と医療者で協働して決定していく大切さを感じました。治療法の最終決定については本人と医師で行いますが、我々訪問看護従事者においても適切な治療方針決定の手段を把握した上で、診療の補助として本人の意向を医師に情報提供する役割があると考えられ、共同意思決定(SDM)についての学びが大切であると感じております。

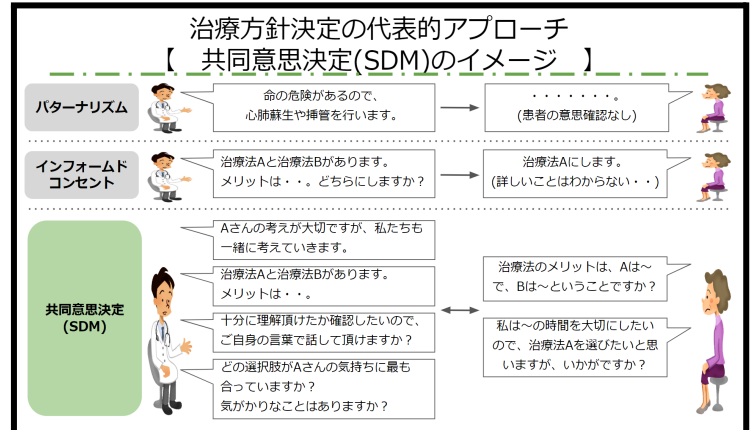
共同意思決定(SDM/Shared Decision Making)

治療方針決定の代表的アプローチ
【 共同意思決定(SDM) 】

共同意思決定、SDM/Shared Decision Making

- 医学的情報と患者の価値観に基づき、医療者と患者が協働して、患者にとって最善の医療上の決定を下す為のコミュニケーションのプロセス

	ハターナリズム	インフォームド・コンセント	共同意思決定(SDM)
方向	一方向 (医師→患者)	一方向 (医師→患者)	双方向 (医師→患者)
内容	医学情報	医学情報	医学情報 個人・社会情報(価値観・生活)
情報量	必要最小限	全関連情報 (医学・個人・社会)	全関連情報 (医学・個人・社会)
検討	医師のみ	患者(家族他)	医師と患者(家族他)
最終決定	医師	患者	医師と患者
適用	有効な治療が迅速に開始されることが求められる場面	唯一最善な治療法が明確でなく、治療法に選択肢がある場合	



※上記資料は弊社で作成した資料であり、今回の勉強会で配布された資料ではございません。



河野先生におかれましては、貴重な学びの機会を与えて頂き、誠にありがとうございました。

* 共同意思決定とACPは類似した考えではありますが、ACPIにつきましては勉強会の開催実績もあり、事業所にお伺いして勉強会(無料)を開催させて頂くことも可能ですので、いつでもお声掛け下さい。

文責:理学療法士 新田

〒113-0034 東京都文京区湯島4-6-12湯島ハイタウンB1417号室

まるまる訪問看護ステーション湯島
TEL:03-4431-3226 FAX:03-6625-0289

